



# 御在所の風



志布志市立田之浦小学校  
学校だより 文責：長野則子  
令和4年11月22日発行

教育目標 「心豊かでたくましい体をもち、自ら学ぶ『田之浦の子』を育成する」

めざす子どもの姿 【やさしく】思いやりの心をもち、相手を尊重できる子  
【かしこく】自ら学び、考え、粘り強く学習を続ける子  
【たくましく】命の大切さを知り、自ら鍛える子



## 時代を創り，次代を担う子どもたち～中村洋志先生の講演から～

校長 長野 則子

11月も下旬に入り、登校時の子どもたちと、「今朝は寒いね」と会話する日も増えてきました。しかし子どもたちは寒さに負けず、登校後の片づけを終えると、校庭に出てランニングや縄跳び、ボール投げなど朝の体力づくりに励んでいます。また、今月は「校内読書月間」の取組で、友達に読書郵便を送ったり、読書ビンゴにチャレンジしたり、読書にも意欲的に取り組んでいる子どもたちです。2学期もあと1か月、2学期のまとめの時期になります。学習の振り返りや見届けを行うとともに、子どもたちの頑張りを称賛し、子どもたちが意欲的に2学期のしめくくりに取り組んでいけるようにしたいと思います。

さて、10月27日に行われた「志布志市幼・保・小連携協議会」で、天文館てんてん保育園及び騎射場れいわ保育園園長の中村洋志先生の講演「時代を創り，時代を担う子どもたち～どの子も伸びたいと切望している～」を拝聴しました。「時代を創り，次代を担うのは、今、目の前にいる子どもたち。目の前の子どもたちに期待し，見守っていきたい。ただ，どんなに時代が進展し，変遷し，いくらAIが発達しても、『人を思いやる心』や『他者との協調性』等の『人間力』は，これまで以上に磨く必要がある」「人には，それぞれ個性があり，それぞれが『かけがえのない存在』である。自分とは違う『個性』も認め，みんなが住みやすい社会を創造することが求められている。『みんな違って，みんないい存在』なのである」等，子どもたちにしっかりと伝えていかなければならないことや自分自身がしっかりと取り組まなければならないことなど，たくさん学ぶことができました。

子どもたちは，いろいろな経験や体験を通して大きく成長していくと思います。今後も保護者の皆様，地域の皆様の御協力をいただき，「時代を創り，次代を担う子どもたち」を育てていきたいと思っています。



体カタイム



学習の様子



選書会



休み時間の図書室

## 11月26日(土)の『夜神楽』に向けて

子どもたちは，11月26日に行われる田之浦山宮神社の「夜神楽」に向けて，10月から放課後の練習に取り組んでいます。「夜神楽」では，32人の子どもたちが，それぞれに分かれて，「幣舞(ひまい)」「帯舞」「巫女舞」「児鬼神(こきじん)舞」「杵舞」「岩戸潜り舞」「曲球(まがたま)の舞」を奉納します。(17:30 夜神楽開始)ぜひ子どもたちの頑張る姿をご覧ください。

